

青森県立柏木農業高等学校

生物生産科課題研究野菜班

高校生ボランティア・アワード2022

興せ！ナンバムーブメント！ ～津軽在来種を未来へツナグ～

★清水森ナンバとは？

清水森ナンバは400年以上前に、津軽藩の初代藩主である「津軽為信」が京都の伏見稲荷から持ち帰り、弘前の農家が栽培したのが始まりと伝えられている津軽在来のトウガラシである。その特長として、他のトウガラシにはないようなまろやかな甘味や豊かな風味、高い栄養価などがあげられる。

昭和40年代以降に、安価な輸入唐辛子が全国に流通するようになると、姿を消す寸前まで生産量が激減した。このような状況を何とかしようと、2004年に地元関係者や学識経験者などの産学官連携による清水森ナンバブランド確立研究会が発足し、栽培や加工品開発、普及活動など様々な取組が行われている。本校も会員となり、ナンバの栽培や新たなメニューの検討などに取り組んでいる。



先輩方が清水森ナンバの活動に取り組んでいることを知り、私たちが活動を引き継ぎ、取り組んでいます。「ナンバムーブメント」を興すため頑張っていきます！



★R4年度重点活動

①栽培知識・技術の習得

研究会が開催した講習会に参加し、歴史や栽培について学習した後、実際にナンバの定植を行った。また、津軽地域で中華料理店を展開している有限会社幡龍様と定植交流会も行き、地域を巻き込みながら活動している。

②新商品の検討・開発

幡龍の代表取締役である三上さんから、商品開発について、アドバイスをいただきながら、メニュー案を検討している。

③情報発信・普及活動

ナンバの普及において課題の1つが情報発信である。6月に運用開始となった、学校公式SNSも活用しながら、様々な年代に対する普及活動を行っていく予定である。

#柏農 柏木農業高校公式SNS始動！
ぜひ、フォローしてください！！



facebook



Instagram



YouTube



Twitter



公式LINE



TikTok
学校HP

★拡散希望★
魅力ある柏農生活を発信!!

青森県立柏木農業高等学校
公式ソーシャルメディア運用中！！

